

(1) 原著

1. Kawano T, Atsukawa M, Tsubota A, Shimada N, Toyoda H, Takaguchi K, Tani J, Morishita A, Hiraoka A, Mikami S, Ishikawa T, Okubo H, Watanabe T, Okubo T, Arai T, Hayama K, Itokawa N, Kondo C, Iwakiri K. Shorter pruritus period and milder disease stage are associated with response to nalfurafine hydrochloride in patients with chronic liver disease. *Sci Rep.* 2022 May 4;12(1):7311. doi: 10.1038/s41598-022-11431-1. PMID: 35508514
2. Okubo H, Atsukawa M, Okubo T, Ando H, Nakadera E, Ikejima K, Nagahara A. : Gadoteric acid-enhanced magnetic resonance imaging predicts hyperbilirubinemia induced by glecaprevir during hepatitis C virus treatment. *Sci Rep.* 2022 May 12;12(1):7847.
3. Jing Z, Okubo H, Morishige J, Hasan N, Ando H. Lenvatinib causes reduced expression of carnitine/organic cation transporter 2 and carnitine deficiency in the skeletal muscle of rats. *Toxicology Letters.* *Toxicol Lett.* 2022 Jul 3;366:17-25.
4. Takasaki Y, Isayama H, Shin KS, Ishii S, Fujisawa T, Moon JP, Fukuma T, Ushio M, Takahashi S, Suzuki A, Ito K, Tomishima K. Measurement of the anchoring force of covered self-expandable and lumen-apposing metal stents for interventional endoscopic ultrasonography. *Dig Endosc.* 2022 Jul 15. doi: 10.1111/den.14406. Online ahead of print.
5. Nishioki T, Koyama R, Okubo H, Fukuo Y, Takasaki Y, Yae T, Banno T, Kido K, Takahashi K, Shiina S, Ikejima K. Endobronchial Watanabe Spigot Placement for Hepatic Abscess and Bronchobiliary Fistula Following Radiofrequency Ablation for Hepatocellular Carcinoma: A Case Report. *Intern Med.* 2022 Aug 10. doi: 10.2169/internalmedicine.0392-22. Online ahead of print. PMID: 35945018
6. Yusuke Takasaki, Toshio Fujisawa, Mako Ushio, Sho Takahashi, Wataru Yamagata, Akinori Suzuki, Koichi Ito, Kazushige Ochiai, Ko Tomishima, Shigeto Ishii and Hiroyuki Isayama Effect of Mirogabalin on Chemotherapy-Induced Peripheral Neuropathy Caused by Gemcitabine plus Nab-Paclitaxel Therapy in Pancreatic Cancer Patients: A Pilot Study *J. Vasc. Dis.* 2022, 1(1), 36-42; <https://doi.org/10.3390/jvd1010005> Received: 12 July 2022 / Revised: 25 July 2022 / Accepted: 27 July 2022 / Published: 6 August 2022
7. Tomoyo Iwano, Hiroya Ueyama , Kohei Matsumoto , Takashi Yao , Akihito Nagahara : A rare gastric foveolar-type adenoma with lanthanum deposition in a *Helicobacter pylori*-uninfected patient. *Gastrointestinal Endoscopy.* 2022 Aug 11; S0016-5107(22)01882-X. doi: 10.1016/j.gie.2022.08.009. Online ahead of print.
8. Okubo H, Ando H, Takasaki Y, Nakadera E, Fukuo Y, Shiina S, Ikejima K. Impact of Cabozantinib Exposure on proteinuria and muscle toxicity in patients with unresectable hepatocellular carcinoma. *Pharmaceuticals.* 2022, 15, 1460,
9. Atsukawa M, Tsubota A, Kondo C, Shioda-Koyano K, Ishikawa T, Toyoda H, Takaguchi K, Watanabe T, Matsuura K, Ogawa C, Hiraoka A, Okubo H, Tateyama M, Uojima H, Nozaki A, Chuma M, Kato K, Mikami S, Tani J, Morishita A, Kawata K, Tada T, Furuichi Y, Okubo T, Kawano T, Arai T, Kawabe N, Kawamura N, Ikegami T, Nakamuta M, Iwasa M, Tanaka Y, Hatano M, Iwakiri K. Risk factors for portopulmonary hypertension in patients with cirrhosis: A prospective, multicenter study. *Hepatol Int* 2022 Dec 7. doi:

10.1007/s12072-022-10456-y. Online ahead of print.

10. Tanaka H, Sugo H, Iwanaga N, Machida M, Watanobe I, Okubo H, Hotchi S, Ogura K. Mixed neuroendocrine carcinoma and hepatocellular carcinoma in the liver. Mixed neuroendocrine carcinoma and hepatocellular carcinoma in the liver *Cancer Rep (Hoboken)*. 2022 Dec 22. <https://doi.org/10.1002/cnr2.1772>.

## (2) 総説

1. 小田倉里奈 石塚敬 斉藤紘昭 大久保裕直：門脈膿血栓症に対する Interventional Radiology 介入意義. *日門亢会誌* 2022; 28:210-214
2. 秋田直美 関根晴香 中村香代子 中寺英介 大久保裕直：マルチポーラ RFA における検査技師の役割. *Rad Fan* 2002 20(14) 75—77

## (3) 著書

1. 大久保裕直：門脈圧亢進症の診療ガイド 2022. 日本肝臓学会・日本門脈圧亢進症学会編，文光堂，執筆委員
2. 高崎祐介：「総胆管結石の内視鏡治療」「経皮経肝胆道ドレナージ」「内視鏡的胆道ドレナージ (ENBD、EBD)」決定版！ぜんぶ知りたい肝・胆・膵：解剖生理も、最新の治療も、患者ケアも. *消化器ナーシング* 2022 年秋季増刊，メディカ出版，2022/9/27

## (4) 学会発表

1. 高崎祐介：パネルディスカッション 11 「ESWL と経口膵管鏡、EUS-PD を用いた膵石完全除去と複数本ステント留置による狭窄拡張の治療戦略の有用性について」. 第 108 回日本消化器病学会総会，東京，2022 年 4 月 22 日
2. 大久保裕直 中寺英介 國分茂博：パネルディスカッション「門脈亢進症の今後」門脈圧亢進症性胃症に対する部分的脾動脈塞栓術の有用性. 第 108 回日本消化器病学会，東京，2022 年 4 月 23 日
3. Yusuke Takasaki : Pancreato-biliary symposium 1 「Current status of EUS-antegrade procedure for bile duct stone with surgically alter anatomy」 The 103rd Congress of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society, Kyoto, 2022.5.13
4. 萩川真由子, 澁谷 智義, 黒澤 太郎, 伊藤 顕太郎, 野村 慧, 芳賀 慶一, 野村 収, 福嶋 浩文, 村上 敬, 石川 大, 八尾 隆史, 永原 章仁：コレステミドが著効した潰瘍性大腸炎に併発した Collagenous Colitis の 1 例. 第 103 回 日本消化器内視鏡学会総会，京都，2022 年 5 月 14 日
5. 福生有華, 小田倉 里奈, 佐伯 至勇, 池村 宗朗, 宇都宮 尚典, 澁谷 智義, 大久保 裕直, 永原 章仁：潰瘍性大腸炎におけるウステキヌマブの投与間隔の最適化の検討. 第 103 回 日本消化器内視鏡学会総会，京都，2022 年 5 月 15 日
6. 岩野知世, 赤澤 陽一, 松本 紘平, 上山 浩也, 内田 涼太, 宇都宮 尚典, 阿部 大樹, 沖 翔太郎, 鈴木 信之, 池田 厚, 谷田貝 昂, 小森 寛之, 竹田 努, 上田 久美子, 浅岡 大介, 北條 麻理子, 八尾 隆史, 永原 章仁：Helicobacter pylori 感染状況別の NBI 併用拡大内視鏡による胃癌診断能の検討. 第 103 回 日本消化器内視鏡学会総会，京都，2022 年 5 月 15 日
7. 大久保裕直：Gd-EOB-DTPA 造影 MRI を用いた Glecaprevir 高ビリルビン血症発現予測. 第 58 回 日本肝臓学会総会，東京，2022 年 6 月 2 日

8. 大久保裕直：カルニチン補充療法によるレンバチニブ起因性サルコペニア進行抑制効果：傾向スコアマッチング解析. 第 58 回 日本肝臓学会総会, 東京, 2022 年 6 月 3 日
9. 福生有華, 小田倉 里奈, 宇都宮 尚典, 佐伯 至勇, 関根 悠貴, 發地 詩織, 照喜名 宏之, 小倉 加奈子, 大久保 裕直：腸管狭窄を伴う Filiform polyposis を呈したクローン病の 3 症例. 第 114 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 東京, 2022 年 6 月 11 日
10. 深澤大旭 池村宗朗 山形亘 大久保捷奇 斉藤紘昭 大久保裕直：EUS-FNA で診断可能であった多発性限局性自己免疫膵炎の一例. 第 114 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 東京, 2022 年 6 月 11 日
11. 大久保裕直：パネルディスカッション4「消化管静脈瘤に対する、内視鏡診断と治療の現状と課題 ～薬物療法・IVR・外科治療の適応も踏まえて～」異所性静脈瘤破裂に対する治療戦略. 第 114 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 東京, 2022 年 6 月 12 日
12. Yusuke Takasaki :一般口演「efficacy and safety of Mirogabalin for CIPN in GEM+nab-PTX using EORTC-CIPN20 questionnaire」The 26th International Association of Pancreatology (IAP) and The 53rd Annual Meeting of Japan Pancreas Society (JPS), Kyoto, July 7, 2022
13. 大久保裕直、中寺英介、池村宗朗、子安洋輝、北村香水、坂本善郎：経皮経肝的回腸静脈コイル塞栓術が奏効した回腸導管静脈瘤の一例. 第 29 回日本門脈圧亢進症学会, 大阪, 2022 年 9 月 8 日
14. 大久保裕直：薬物動態からみたカボザンチニブ肝細胞癌治療. 第 44 回日本肝臓学会東部会, 仙台, 2022 年 11 月 26 日
15. 宇都宮 尚典, 岩野 知世, 池村 宗朗, 太田 寛人, 佐伯 至勇, 萩川 真由子, 高崎 祐介, 中寺 英介, 福生 有華, 大久保 裕直, 小倉 加奈子：肝膿瘍との鑑別に苦慮した原発性肝癌肉腫の 1 例. 日本消化器病学会関東支部第 372 回例会, 東京, 2022 年 12 月 10 日
16. 松下 真弓, 高崎 祐介, 中寺 英介, 福生 有華, 小倉 加奈子, 松本 俊治, 大久保 裕直：膵原発肝様癌に対して放射線治療とレンバチニブにて治療した 1 例. 日本消化器病学会関東支部第 373 回例会, 東京, 2023 年 2 月 25 日

#### (5) 研究会発表

1. 高崎祐介：演者「B-II 再建後総胆管結石性胆管炎を救命し得なかった一例」。重症急性胆管炎合併症を考える会, 新宿, 2022 年 4 月 12 日
2. 大久保裕直 高崎祐介 福生有華 中寺英介：肝細胞癌に対するカボザンチニブ治療～初期臨床成績～. 第 58 回日本肝臓学会, 東京, 2022 年 5 月 12 日
3. 大久保裕直 高崎祐介 中寺英介 福生有華：肝細胞癌レンバチニブ治療における骨格筋量低下～カルニチン補充療法の有用性～ 第 58 回日本肝臓学会, 東京, 2022 年 5 月 12 日
4. 大久保裕直、安藤 仁、椎名秀一朗：パネルディスカッション「肝臓における precision oncology (ゲノム、パネル検査、リキッドバイオプシー、gene signature 等の活用)」肝細胞癌レンバチニブ治療において ABC トランスポーター遺伝子多型が PK/PD に及ぼす影響. 第 58 回日本肝臓学会, 東京, 2022 年 5 月 13 日
5. 大久保裕直, 福生有華, 西沖俊彦, 八戸敏史, 小山良, 阪野孝充, 木戸健治：肝細胞癌 RFA 後の気管支胆管瘻に対して Endobronchial Watanabe Spigot 充填術が有用であった一例. 第 58 回日本肝臓学会, 東京, 2022 年 5 月 13 日

6. 大久保裕直：カボザンチニブによる肝細胞癌治療：初期臨床成績。第26回日本肝がん分子標的治療研究会，軽井沢，2022年6月25日
7. 大久保裕直：ミニレクチャー「肝細胞癌の治療戦略」。第12回臨床研修医のための学術集会（web），2022年7月1日
8. 大久保裕直：レンバチニブを中心とした集学的治療。Intermediate stage HCC の治療戦略を考える会（web），2022年7月13日
9. 大久保裕直：ワークショップ ナビゲーションの功罪1 経皮的肝癌マルチポータ RFA におけるチーム医療の実践。第16回肝癌治療ナビゲーション研究会，大阪，2022年9月3日
10. 高崎祐介：「慢性膵炎の内視鏡治療～早期慢性膵炎を含めて～」．第3回膵疾患フォーラム，東京，2022年9月6日
11. 大久保裕直 中寺英介 國分茂博 主題演題「脾腫を如何に制御するか」。第11回脾臓研究会，大阪，2022年9月9日
12. 秋田直美 関根晴香 中村香代子 中寺英介 大久保裕直：主題1 「肝癌診療における超音波診断の最前線」マルチポータ RFA における検査技師としての役割。第49回超音波ドプラ新技術研究会，旭川，2022年9月17日
13. 高崎祐介：企業勉強会「膵がん治療における合併症対策（神経障害性疼痛）」，東京，2022年9月28日
14. 大久保裕直：HCV プロテアーゼ阻害剤の安全使用に向けて～EOB-MRI を用いた高ビリルビン血症発現予測～。第12回 首都圏 Liver Forum （Web），2022年10月1日
15. 大久保裕直：経皮経肝的回腸静脈コイル塞栓術が奏効した回腸導管静脈瘤破裂の一例。第16回肝アングリオ研究会，東京，2022年11月4日
16. 15. 横山 充、高崎祐介、中寺英介、福生有華、大久保裕直、関 誠、安井英明、福里利夫、小倉加奈子、松本俊治：Atezolizumab+Bevacizumab を中心とした集学的治療を行った進行肝細胞癌の1例。第64回肝癌症例研究会(Web)，11月5日（土）
17. 大久保裕直：当院における LEN-TACE 療法の使用経験からの考察。HCC Pioneers Meeting～TACE+TKI 併用治療の新時代の幕開け～(Web)，2022年12月21日
18. 大久保裕直：肝細胞癌カボザンチニブ治療の血中濃度予測。第27回日本肝がん分子標的治療研究会，大阪，2023年1月14日
19. 大久保裕直：「肝細胞癌に対する LEN-TACE の実践」。Intermediate stage HCC の治療戦略を考える会（web），2023年2月1日
20. 大久保裕直：「薬物動態からみた肝細胞癌レンバチニブ治療～AE マネジメントを含めて～」．LENVIMA-HCC Web Seminar in Kanagawa(web)，2023年2月17日
21. 大久保裕直：「薬物動態からみた HCC DAAs 治療」。第5回城北肝疾患セミナー，東京，2023年3月9日

#### (6) 特別講演、招待講演、教育講演

1. 大久保裕直：C型肝炎治療最前線～ウイルス性肝炎の感染経路と予防法も含めて～。城北・城西消化器疾患フォーラム 2022年6月31日
2. 大久保裕直：薬物動態を考慮に入れた肝ボザンチニブ肝細胞癌治療。HCC Expert Web Seminar 2022

年 7 月 11 日

3. 大久保裕直：薬物動態を考慮に入れた肝ボザンチニブ肝細胞癌治療. カボメティクス全国 WEB 講演会 2022 年 7 月 27 日
4. 大久保裕直：肝機能障害のみかた. 第 226 回 練馬区医師会学術 消化器懇話会 2022 年 8 月 1 日
5. 大久保裕直：肝癌分子標的薬治療での副作用マネジメント. LEN-TACE Young Academy in 城北 2022 年 9 月 5 日
6. 大久保裕直：レンビマ AE マネジメントの極意. 第 2 回 Lenvima-HCC Meeting in 東邦 2022 年 9 月 21 日
7. 大久保裕直：SDGs 時代における C 型肝炎治療の残された課題. 城北・城西 HCV セミナー 2022 年 10 月 20 日
8. 大久保裕直：薬物動態からみた HCV DAAs 治療. Liver Science Forum, 東京+web, 2022 年 11 月 29 日
9. 大久保裕直：初期経験から得られたカボザンチニブの特徴と位置づけ～薬物動態を考慮したマネジメント～. 肝癌治療戦略～シーケンス治療と OS 延長について考える～(Web), 2022 年 12 月 23 日 (Web)
10. 大久保裕直：AE マネジメントと極意ー肝臓内科の立場からー. Lenvatinib AE Management Seminar(Web), 2023 年 1 月 12 日

#### (7) その他 (座長、司会、地域連携)

1. 大久保裕直：一般演題「化学療法 4」座長. 第 58 回 日本肝癌研究会, 東京, 2022 年 5 月 12 日
2. 高崎祐介：専門医セッション 座長. 第 114 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 東京, 2022 年 6 月 11 日
3. 福生有華：Crohn 病診療を考える会 座長 「演者 竹中健人 Crohn 病小腸病変のモニタリング」. 2022 年 6 月 15 日
4. 大久保裕直：講演 II 座長. 順天堂大学医学部附属練馬病院 第 109 回医療連携フォーラム 地域密着型 領域別最新医学講座 (Web), 2022 年 7 月 7 日
5. 福生有華：「地域医療連携に支えられた炎症性腸疾患診療」. 順天堂大学医学部附属練馬病院第 109 回医療連携フォーラム 地域密着型 領域別最新医学講座 2022 年 7 月 7 日
6. 大久保裕直：企業セミナー座長. 第 16 回肝癌治療ナビゲーション研究会, 大阪, 2022 年 9 月 3 日
7. 大久保裕直：一般演題 5 がん 座長. 第 29 回 日本門脈圧亢進症学会, 大阪, 2022 年 9 月 9 日
8. 大久保裕直：特別講演 司会. 医療連携 Web セミナー～肝炎から肝がん治療まで～ (Web), 2022 年 9 月 16 日
9. 大久保裕直：一般演題 2 座長. 第 49 回超音波ドプラ新技術研究会, 旭川, 2022 年 9 月 17 日
10. 大久保裕直：指定演題 座長. 2022 年度東京・神奈川肝がん研究会, 東京, 2023 年 2 月 18 日
11. 大久保裕直：パネルディスカッション：肝細胞癌治療 up to-date. 城北 HCC web セミナー (Web), 2023 年 3 月 1 日
12. 大久保裕直：特別講演座長. 第 115 回医療連携フォーラム (Web), 2023 年 3 月 7 日